

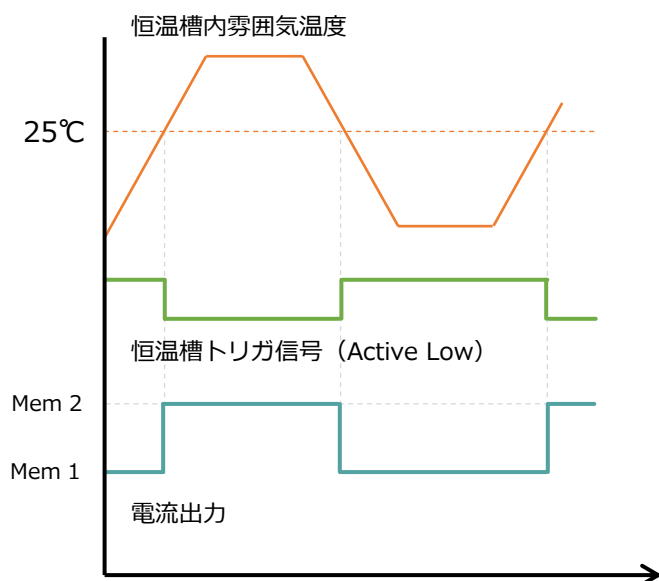
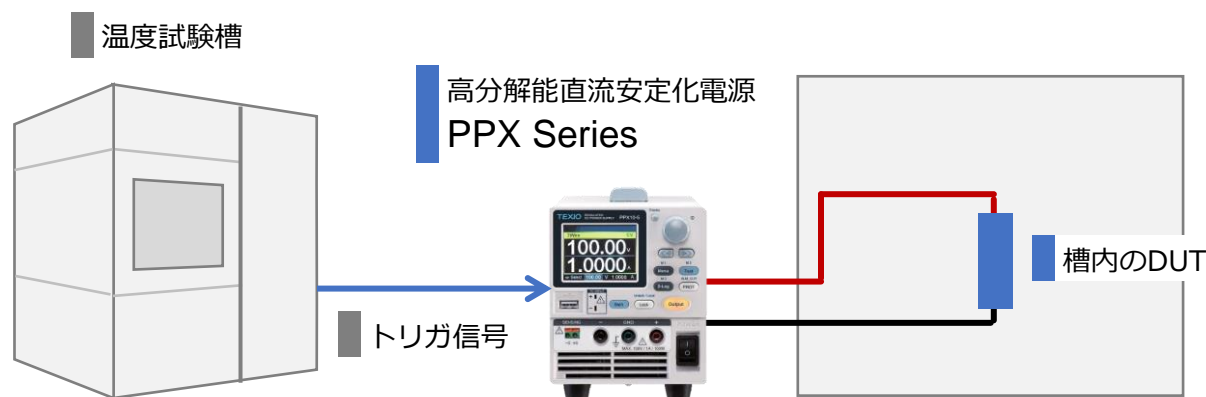
トリガ信号で条件変更する信頼性試験

PPXシリーズには、外部トリガ入力を使用して用意していた設定やメモリ、シーケンスに切り替えることが可能です。これを使用し、恒温槽のトリガ信号で異なる条件の出力に可変することが可能です。

point

- ・多くの直流安定化電源は外部信号で出力をON/OFFできるものは多くあるが、設定値や保護機能の設定値など、設定を切り替えることができるものは少ない。
- ・PPXシリーズはトリガ入力でメモリや設定値を切り替えることができる。
- ・PTC (Power and Temperature Cycle) 試験では、電源の出力と恒温槽の雰囲気温度は非同期だが、同期した要求試験も増えてきている。

接続イメージ



接点信号やトリガ信号で出力ON/OFFできる電源は多くあれど、“値を変えられる”電源は意外と少ないですね。PPXなら“全ての設定を記録するメモリ”の切替ができるので、値はもちろん、保護動作のしきい値や、別のシーケンスを動かすなんて使用方法もできますね！



恒温槽から25°C以上/以下を信号で直接入力し、各々別々の設定電流で出力するといった使用が可能です。